

## 第11回各医師会新型コロナウイルス感染症担当理事者会

1/26に上記会議そして1/27に医師会で小郡市新型コロナワクチン予防接種実施要領会議がありましたので2つの会議の分をまとめて説明します。

初めに医療従事者の接種が2月末より始まります。こちらについては県が管轄することになっており詳細は福岡県から説明があるはずなのですが、今まで1回も開催されておりません。何度か連絡を取りましたがまだ決まっていないので、お待ちくださいといわれ続けております。最後に連絡をとったのが2月3日でこのときは2月4日に福岡県全体で冷凍庫20台ありますが、その配置が決定する、その後サテライト病院を決め、その後県医師会に結果を報告し方針が決まるとのことでした。そのため「それが決まるまでお待ちください」といわれ、現状何も進めることができずにいる状況です。

次に高齢者とその後の64歳以下の住民の接種ですが

北野町は田中泰之先生に対応いただき、神代病院に冷凍庫を置き、集団接種も併用し北野町のすべての医療機関が参加することになりました。

大刀洗町は人口15000人に診療所が3つしかなく非常に難しいところですが町役場に冷凍庫を置き3つの診療所（大刀洗診療所、やなぎ医院、平和クリニック）で個別を行うと同時に役場で集団接種を行います。役場の集団接種には聖ヨゼフ園の医師も参加いただける状況です、日程などについては協議中です。

小郡市は担当者に来てもらっています。後から説明があります。先月お話がありましたように地域包括支援の分類でA,B,Cの3箇所に分けて2月に来る冷凍庫をまずはC地区の嶋田病院に置いてその後残りのA,B地区の冷凍庫を置く病院を決める予定としておりました。そして島田会長が調整をして聖和記念病院と丸山病院に決まっておりました。それはもともと厚生労働省が「冷凍庫を適宜配置してそこから3箇所程度のサテライト病院を決め、そこに分配してワクチンを打つように構成をする、冷凍庫のワクチンは細かく分けすぎてはいけない」というコンセプトで市町村にワクチンの分配を指示していたからでした。しかし厚生労働省は1月末になり突然、「練馬区モデル」といわれる、基本型から希望する全診療所にワクチンを配布し接種できるようにする構想をモデルケースとして推奨するようになりました。これを見て私と市役所職員で協議をして市役所で考慮の結果、今までの計画を見直し、冷凍庫はアステラスにおいて、そこから小郡市の診療所に配布する、集団接種も併用するというプランに変更することになりました。島田会長及び理事の先生方には大変ご迷惑をおかけしますが、今回の変更については、市役所の要因というよりは、厚生労働省の突然の方針変更によるものとご理解ください。